

○平成30年までの人口の推移について

(単位:人)

年(基準日:10月1日)			平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成37年	平成42年
データ元	No.	内容	(2010年)	(2015年)	(2016年)	(2017年)	(2018年)	(2019年)	(2020年)	(2025年)	(2026年)
山陽小野田市人口ビジョン	1	本市の長期見通し	64,548	62,124	61,800	61,476	61,152	60,828	60,505	59,499	57,806
第二次山陽小野田市総合計画	2	本市の長期見通し	—	62,550	62,221	61,893	61,564	61,236	60,907	59,896	58,183
市人口実績	3	比較できるよう市で集計した人口	—	62,550	62,168	61,793	61,315	—	—	—	—
見通しと実績の比較		(No.3—No.2)			△ 53	△ 100	△ 249				

※社人研 : 国立社会保障・人口問題研究所

●本市の人口の長期見通しとしては、山陽小野田市人口ビジョン(平成28年3月策定)よりも第二次山陽小野田市総合計画(平成30年3月策定)の方が、人口を多く設定している。たとえば、平成42年を見ると、第二次山陽小野田市総合計画の方が377人多い。

よって、見通しの人口が多い第二次山陽小野田市総合計画の人口と実績の人口について、平成28年から平成30年までを比較してみると、長期見通しを実績の人口がわずかに下回っている。